名護市下水道事業における
ウォーターPPP 導入検討に関する
マーケットサウンディング（アンケート調査）

回答概要

令和 8 年度

名護市環境水道部工務課

0. 回答企業の業種と地元区分

第 1 回 MS で回答があった企業は、17 社である。最も回答が多かった業種は、維持管理系で 5 社、次いで、メーカー4 社である（**表 2**)。市内・県内業者は合わせて 5 社で、残りは県外業者である（**表 3**)。(※内・外の判断は主たる事務所が存在するか)

表 2 回答業者の業種

	業種区分
3	建設
6	維持管理
4	メーカー
2	調査・設計
2	その他

表 3 回答業者の地元区分

	地元区分
2	市内
3	県内
12	県外

1. PPP/PFI 事業に関する認識・参入実績について

1.1 認識調査

表 1.1.1～3 に PPP/PFI 事業に関する認識に関する回答結果を示す。

いずれの企業も PPP/PFI 事業について内容を理解しており、大いに関心がある。

表 1.1.1 認識

1-1(1)	PPP/PFI事業の認識について
17	内容を理解している
0	内容はよくわからない
0	聞いたことがない

表 1.1.2 関心度合

1-1(2)	PPP/PFI事業の関心度合について
15	大いに関心がある
2	関心がある
0	どちらとも言えない
0	あまり関心がない
0	まったく関心がない

表 1.1.3 具体的な取組等

1-1(3)	PPP/PFI事業の参入に向けた取組・検討状況について
16	具体的な取組みを進めている
1	検討を行っている
0	取組みや検討は行っていない

1.2 参入実績調査

表 1.2.1～3 に PPP/PFI 事業に関する参入実績調査に関する回答結果を示す。

多くの企業が事業を実施したことがある/実施中であると回答しており、DB 方式、管理・更新一体マネジメント方式（レベル 3.5)、包括的民間委託（処理場・ポンプ場）‘レベル 3.5 の回答が多かった。

グループの構成員として参加した企業が多いが、代表企業として参入している企業も一定数確認できた。

表 1.2.1 参入状況

1-2(1)	下水道事業におけるPPP/PFI事業の参入状況について
11	参入を検討したことがある
10	公募・入札に参加したことがある
1	以前、事業を実施したことがある（現在は実施していない）
10	現在、事業を実施中である

表 1.2.2 参入形態

1-2(2)	過去に参加したことのある下水道事業におけるPPP/PFI事業形態について
5	コンセッション（レベル4）
7	管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）
6	PFI（従来型）
6	DBO方式
8	DB方式
7	包括的民間委託（処理場・ポンプ場）（レベル1～3）
3	包括的民間委託（管路）
3	参加経験なし

表 1.2.3 参入体制

1-2(3)	過去に参加したことのある下水道事業におけるPPP/PFI事業参入時の体制について
2	単独で参入
9	グループの代表者として参入
12	グループの構成員として参入
6	グループの下請け企業として参入
0	その他

※(1)実施したことがある/実施中であるの回答数と(3)の実績企業の回答数に不整合あり

2. 名護市における業務実績

表 2.1～2 に名護市における業務実績に関する回答結果を示す。

表 2.1 下水道事業の実績

2(1)	名護市の業務実績（下水道事業）について
11	実績がある
6	実績がない

表 2.2 下水道事業以外の実績

2(2)	名護市の業務実績（下水道事業以外）について
11	実績がある
6	実績がない

3. 名護市下水道事業におけるウォーターPPP の導入について

表 3.1～6 に名護市下水道事業におけるウォーターPPP の導入に関する回答結果を示す。

多くの企業が参入または参入を検討したいと思うに回答している。

多くの企業が JV もしくは SPC の構成企業としての参入を想定しており、JV を想定している企業がやや多い。

想定する事業形態としては、更新支援型と更新実施型が同数であった。

表 3.1 参入意向

3(1)	名護市下水道事業WPPPの参入検討について
16	参入または参入検討をしたいと思う
0	参入または参入検討をしたいと思わない
1	わからない

表 3.2 想定する参画体制

3(2)	貴社が想定する参画体制について
2	単独企業
3	JVの代表企業
13	JVの構成企業
2	SPCの代表企業
9	SPCの構成企業
0	わからない
3	その他

表 3.3 想定する事業形態

3(3)	貴社が想定するPPP/PFI事業の形態について
9	管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5） 更新支援型
9	管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5） 更新実施型
7	コンセッション（レベル4）
0	その他

表 3.4-1 想定する業務（処理場など）

3(4)-1	貴社が想定する業務について（処理場など）
2	保守・点検業務
1	運転管理
1	ユーティリティ調達業務
3	汚泥・し尿の運搬・処分業務
10	更新計画案作成業務
2	CM（コンストラクション・マネジメント）業務
2	基本設計、詳細設計業務
7	修繕工事
8	改築工事
2	施工監理業務
1	問題解決業務（悪臭対策等）
1	住民対応業務（苦情対応等）
3	緊急時対応業務（突発事故・災害対応）
2	その他

表 3.4-2 想定する業務（管路施設）

3(4)-2	貴社が想定する業務について（管路施設）
4	巡視・点検業務
5	調査業務（スクリーニング、目視、TV等）
4	清掃業務
3	更新計画案作成業務
2	CM（コンストラクション・マネジメント）業務
2	基本設計、詳細設計業務
4	修繕工事
4	改築工事
3	施工監理業務
5	問題解決業務（不明水対策等）
2	住民対応業務（苦情対応等）
5	緊急時対応業務（突発事故・災害対応）
0	その他

表 3.4-3 想定する業務（その他）

3(4)-3	貴社が想定する業務について（その他）
8	統括管理業務
2	総務関連業務（広報、普及・啓発活動等）
3	財務関連業務（予算、決算書作成等）

表 3.5 参入にあたっての懸念点

3(5)	懸念点
17	ある
0	ない

表 3.6 懸念点の内容

3(6)	懸念点の内容
5	事業規模が過大、もしくは過小であると考えられる。
11	現在の名護市における運転管理や維持管理に関する情報が不足している。
4	資産評価（デューデリジェンス）が不明確である。
5	プロポーザルや業務実施期間内において、提案できる範囲や内容に限りがある。
2	事業実施のための人員を確保できない。
4	グループ企業を構成したり、構成員になることが困難。
8	中小企業や市内業者との連携が不安。
4	大規模企業との連携が不安。
4	ウォーターPPPの対象施設や業務範囲によっては、ノウハウ不足などの懸念がある。
7	入札要件に不安がある。（厳しい条件になりすぎてないか等）